



豊玉二中だより

令和8年度 第6号

発行日 10月2日(金)

練馬区立豊玉第二中学校

校長 大野 雄一郎

成功の先へ、さらなる高みを目指す秋

校長 大野雄一郎

9月は雨が多く梅雨のようでしたが、例年より気温が下がり、確実に秋の訪れを感じる季節になりました。過ごしやすく集中力の高まるこの時期、生徒たちは毎日の授業や部活動、定期考査や修学旅行に集中して取り組んでおり、学校全体に前向きで落ち着いた、充実した空気が流れています。

振り返れば9月、本校の生徒たちは学校の外でも様々な場面で活躍してくれました。地域町会のみこしでは、威勢のよいかけ声とともに笑顔で地域を盛り上げ、豊二中生が地域に溶け込み、支えていただいていることを改めて感じました。また部活動では、女子バレーボール部、男女ソフトテニス部が区大会新人戦に出場しました。夏の練習の成果を発揮し、コート上で声を出しながらプレーする姿には、見ている者を元気づけるような清々しさがありました。それぞれの場所で全力を尽くした生徒たちに、心から拍手を送るとともに、次なる目標に備えてほしいと思います。

このように、最近の豊二中は学校行事などで「ほぼ成功」という成果を重ねてきています。これは生徒一人一人の努力に加え、保護者・地域の皆様の温かいご支援があつてこそのものであります。しかし、順調だからこそ、私は生徒たちに一つ意識してほしいことがあります。それは、「自分の役割を果たす」ことの先に、「行事全体を成功させる」という視点をもつことです。

一人一人が自分の担当をきちんとこなせば、行事はそれなりの形になります。しかし、本当の意味で「大成功」と呼べる行事になるかどうかは、そこから先にかかっています。「自分の準備は終わったけれど、まだ困っている仲間はいないか」「もっとこうすれば、クラス全体・学年全体がよくなるのではないか」。そうした、自分の枠を越えて全体を見渡す視野こそが、行事を大きく成功させる鍵になります。一人一人の「成功」が集まって、はじめて全体の「大成功」が生まれるのです。

10月下旬には、2学期最大の行事である文化発表会が控えています。合唱コンクールや舞台発表、展示など、それぞれが表現活動に真剣に向き合う大切な機会です。この文化発表会を「大成功」に導くために、ぜひ全員が「自分のことだけでなく、クラスや学年全体のために何ができるか」を考えながら準備を進めてください。声をかけ合い、助け合い、互いの頑張りを認め合う。そうした一つの積み重ねが、当日の舞台や展示の完成度を、そして豊二中全体の一体感を、大きく引き上げてくれるはずです。日々の授業やスポーツで培ってきた集中力をこの文化発表会に注ぎ、学年・学校全体で「大成功」と呼べる文化発表会を作り上げてくれることを期待しています。